

E エッセイ  
Essay.【僕が映画を観に行かない理由<sup>わけ</sup>】

豊橋市国際交流課

ジェームス・パトリック (国際交流員)



豊橋市に着いた2000年の夏から、僕が映画館に行ったのは片手で数えるくらいである。つまり、全然行かない。映画が好きじゃないわけではない。なぜかという、ただ赤岩口のアパートからAMC映画館まで行くのは自転車でかなりえらいから。

映画館で観た映画のひとつは、宮崎駿監督の「千と千尋の神隠し」だ。その映画は記録破りの大ヒットで、多数の日本人のように僕も観に行った。(大変よかったよね。)

友だちや知り合いに僕がよく聞くことは、「宮崎駿監督の一番好きな映画はどれでしょうか」と。ナウシカ派の友だちがいればトトロ派の友だちもいるけれど、僕は「魔女の宅急便」が一番好きである。

なぜ「魔女の宅急便」だろうか。たぶん主人公のキキちゃんに感動するから。若く家出し、新しい町へ行き、そこで自立して生活することは印象的だ。一人前になるその物語は僕の中にどこかピンと来る。日本で生活している僕自身がキキちゃん

のキャラクターに少しなぞらえるからかもしれない。

キキの話のように、僕が豊橋に滞在したこの3年間はちょっとした冒険だった。(だれかが僕の日記を映画化すればどう? 「ジムとJIMの神隠し」とか?)



豊橋まつり市民総おどりのジム

豊橋で沢山楽しい体験ができた。浴衣を着て豊橋まつりの総おどりに参加、はらはらしながら手筒花火を上げる友だちに目を見張り、向山公園の花見などの経験も一生忘れないだろう。豊橋市での日常の出来事さえも、私にとって大変有意義だっ

た。新しい町に転居し、新しい生活を送ることは少し厳しいが、「魔女の宅急便」のように、友だちを作ったり違うことをやってみたりするのは普通のことだけれど、貴重な体験だと思う。市役所で一緒に仕事した人々は大変やさしくていろいろ教えてくれたし、豊橋でできた友だちと過ごした時間も最高だった。その宴会、BBQ、花見パーティー、テニス合宿、スキー旅行などがとても楽しくて、心強かった。皆さんに大変お世話になった。おかげさまで、この3年間に日本語能力だけではなく、生きる能力も結構向上した気がする。自炊以外に自活してきて、かなり成長したと思う。(サイゼリヤと吉野家にも大変お世話になった。)

8月から僕は名古屋へ引越します。また新しいところ、新しい仕事、新しい人との出会い。「魔女の宅急便」の最初のシーンをはっきりと思い出して、今すぐ家を出かけるキキの複雑な気持ちをしばらく考え込む。私はそれと同じ心境かもしれない。これからのことを考えると、いそいそとしているけれど、同時に今までのことを振り返ると、少し寂しくなる。今は緊張しながらあたふた準備をしている。そのシーンに、うきうきしているキキちゃんはためらわずに急いで行くが、私は少し違って、少し惜しそうに豊橋を出るだろう。(といっても、やはり名古屋の便利な映画館を大変期待している。)

■ジムさんは7月23日をもって豊橋市国際交流員の任務を修了いたします。

友人の結婚式のジム

